

月刊  
まち・コミ  
1・2月号

目次

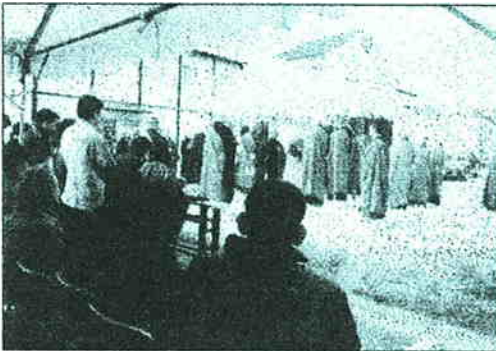
- 【TOP】  
P1 「あの日」から5年—写真で見る1月17日
- 【特集】  
P2 「第6回 御蔵学校」  
P3 「みくら5竣工式」「御蔵地区慰霊法要」
- 【御蔵】  
P4 「人に優しいまち」⑤  
P5 御蔵通5・6丁目区画整理状況図
- 【コラム】  
P6 まち・コミおすすめBOOK／苦悩と希望  
P7 震災5周年ブックレビュー／さんぼみち
- 【定番】  
P8 まち・コミ活動記録／募金・協力



1995/1/17 震災



1997/1/15 三回忌



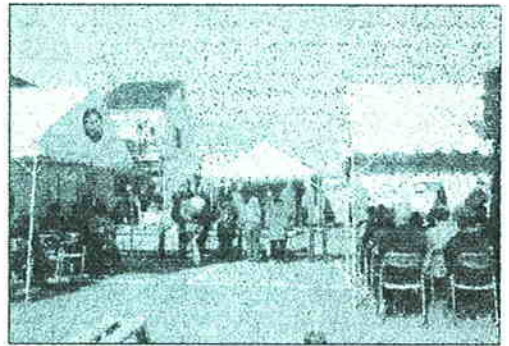
1999/1/17 法要

「あの日から5年」

それぞれそれぞれの思いを胸に 次へ



1996/1/17 一周忌



1998/1/17 法要



2000/1/17 震災5周年法要

15日

# 第6回 御蔵学校 震災5周年特別カリキュラム



← 講義風景(室崎氏)

1月15日、完成したばかりの「みくら5」1階、コミュニティプラザ(仮称)を使って第6回御蔵学校が行われました。今回は部分参加者も含めて80名以上というたくさんの方が参加され、3人の先生の熱弁に耳を傾けていました。

**○都市防災…命と生活を守るとは○  
震災が都市に教えたこと  
～死者6500人が語るもの～  
講師:室崎益輝氏(神戸大学工学部教授)**

**○都市計画…「まち」をつくるとは○  
「復興まちづくりと神戸都市計画  
～これからのまちづくり～  
講師:広原盛明氏(前京都府立大学学長)**

京都府立大学前学長で、住宅・都市計画を専門とされている広原氏はこの講義で、日本の都市計画の特徴を簡単に見たあと神戸市が行ってきた復興計画の特徴を挙げ、その結果神戸がどのようなまちになったかをみていきました。

神戸市の復興計画の特徴として「大ハコモノ計画」「復旧より復興」「陸海空大プロジェクト」などがあげられるそうです。これの根拠となる論理は高度成長期のもので、ここでの読み違えが今の神戸に様々な問題を生み出しています。それを踏まえたうえでこれからのまちづくりを展望し、議論を締めくくられました。

室崎氏は神戸大学の教授として震災にずっとかかわってこられ、現在は亡くなられた6500人のご遺族に対する聞き取り調査もしておられます。今回は、「検証とは何なのか」「正しい教訓とは」など、5年目という「節目」を意識した発言を数多くなされていきました。また、長田はなぜ燃えたのかに関する自説も披露され、最後は「神戸は安全なまちになったのか」という議論に多少悲観的な意見を述べて締めくくられています。

**○都市経済…生活の営みを育むとは○  
被災地の経済再生に向けて  
～「私のこの5年」の検証から～  
講師:遠藤勝裕氏  
(元日銀神戸支店長/日本証券代行副社長)**

遠藤氏は震災当時は日本銀行神戸支店長で、神戸を離れてからも講演などさまざまなかたちで神戸にかかわっておられます。今回は、日銀神戸支店長時代からの5年間でさまざまな素材を使って総括されました。

タイトルに「私の」とある通り、この素材というのはほとんどが遠藤氏自身に関する新聞記事などです。しかし、金融の当事者、エコノミスト、行動する1市民というどの立場からも神戸をこよなく愛する気持ちが伝わってきました。



← ディスカッション

▼午後5時～ ディスカッション  
▼午後7時～ 交流会(2次会)

3人の先生の講演後にはディスカッションが行われ、神戸の各地域で起こっている問題について講師の方も交えた話し合いが行われました。また、懇親会では、活発な議論が繰り広げられました。



← 交流会

今回は「震災5周年特別カリキュラム」ということで、今までとはかなり趣の異なった御蔵学校となりました。その分だけたくさんの方が参加され、それぞれに何かを得ることができたのではないかと思います。ただ、学生などの若い人があまりいなかったのは残念でしたが…。最後になりましたが、貴重な時間を割いて参加された方々、どうもありがとうございました。これからも御蔵学校は続けていくつもりですので、どうぞよろしくお願いいたします。(浮田)

16日

# 「みくら5」竣工式

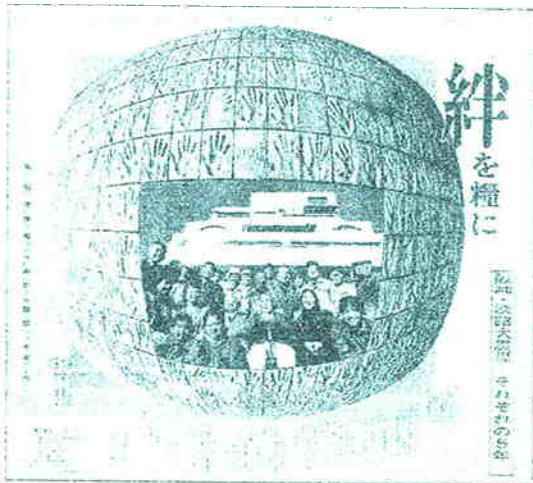


↑ 仏式による竣工の儀

共同化住宅「みくら5」の竣工式は、工事・建設に携わった建設組合・都市基盤整備公団・榊武田設計・榊山田工務店をはじめ厚い協力を頂いた御蔵通5・6丁目まちづくり協議会・神戸市都市計画局、蔭に日向に協力頂いた宮西悠司先生、最初のヒアリング時にお世話になり、今回わざわざ東京から駆けつけて下さった早稲田大学・浦野正樹先生、又この地にボランティアプレハブを建てたNGO団体「ピースポート」の責任パートナーだった辻元清美衆議院議員、御蔵学校から引き続きご出席頂いた遠藤勝裕氏、ほか多くの方のご出席を賜りました。(小島先生は残念ながらご欠席)

まち協の呼びかけから約4年。準備会の立ち上げから約3年。途中幾度も事業不成立の危機に遭遇しながら迎えたこの日。地鎮祭・棟上げ式と同じ仏式による竣工の儀を、やはり地鎮祭からお世話になっている天草の地蔵院住職・荒木正昭和尚に執り行っていただき、その後各住戸を廻っていただき、「般若の風」を送っていただきました。

又この日は「第2回こうべiウォーク」が行われ、みくら5の前もコースになっており、みくら5・6・7わが街の会の皆さんが参加者にホットレモンのおもてなしをされました。(小野)



↑ 1月16日の神戸新聞別刷り表紙を飾る



↑ 当日はiウォークのコースでもあり 御蔵の有志で参加者にホットレモンの振る舞いをした

17日

# 御菅地区慰霊法要



← 会場風景

御菅地区で亡くなられた120余名の方々の慰霊法要を今年も兵庫県第二宗務所曹洞宗青年会の主催、全国曹洞宗青年会のご協力により、仏式無宗派で執り行われました(まち・コミは事務局をさせていただきました)。

今年は毎年お借りしていた菅原市場駐車場が、菅原市場の共同再建準備の為の仮店舗建設の関係で使用不可能な為、御蔵通5丁目北地区の公園予定地に会場変更しての開催となりました。ちなみに会場の北には「みくら5」、北東には「御菅第3住宅」、東には榊兵庫商会仮設社屋があります。

今年も全国から約20名の僧侶の皆さまが参集いただき、厳かに読経下さいました。また平日にも関わらず多くの御遺族の皆さまが供養にお越し下さいました。

法要の後は、滋賀県高島郡マキノ町常栄寺住職・弘海名道老師から法話をいただき、「命の尊さ」と「強く生きること」をお説き下さいました。

今年の1月17日も良い天気に恵まれ、式の後には方々で再会を喜ぶ声が聞こえました。来年は節目の7回忌です。(小野)

→ ご焼香風景



# 御蔵

震災復興で目指す  
「人に優しいまち」  
⑤

## I. 御蔵通5・6丁目の6年目の現状

今年1月19日に住宅再建状況を調査しました。(前回は12月1日)。今回は街路の整備状況についても図示しました。(街路の距離は不正確です)。仮換地は99年10月の区画整理審議会時で60%です。7月の審議会時で58%だったのが3ヶ月で2%増えただけです。その後、新たな換地は現在まで有りません。街路は約50%程度が整備されていますが、間の道路の舗装は一部砂利道のままです。受け皿住宅は昨秋2棟完成しました。御管第2住宅は28戸中9戸、第3住宅は67戸中26戸が入居済みです。共同化住宅・みくら5(フ)は年末に完成しました。住宅は10戸、店舗2戸、プラザ1戸です。個人の個人住宅は5戸、店舗(事業所)兼住宅は4戸、店舗は1戸。建築中の住宅は7戸、店舗兼住宅は2戸です。

仮換地	99.7	58%
	99.10	60%
受け皿住宅		
御管第2住宅	28戸中9戸入居	
御管第3住宅	67戸中26戸入居	
共同化住宅・みくら5		
住宅10戸・店舗2戸・プラザ1戸		
新築住宅	5戸	
新築店舗兼住宅	4戸	
新築店舗	1戸	
建築中住宅	7戸	
建築中店舗兼住宅	2戸	

仮換地が進まない理由は個人人や役所の事情がありますが、まだ40%も残されている状況は、地主にとっては将来の見通しが立たないという不安を持たざるを得ません。また仮換地が決まったところでも、約半分は更地だったり従前居住者が使っておられたりで、新築住宅は建っていません。新築・建築中を含めても再建住宅・店舗が全体で19戸というのは余りにも少なすぎます。

## II. 「受け皿住宅」入居希望調査について

地元で建設された「受け皿住宅」に地元の住民が入居できないという全く納得出来ない状況は前号で報告しました。昨秋から「区画整理事業で住宅が困窮した」と考えられる方を協議会独自で100世帯前後リストアップして、それぞれの事情を手分けして聞き取り調査を続けてきました。震災後5年も経過しており、ほとんどの方は「残念だが、今から引越しても大変」「生活が落ち着いてしまった」「不便だが我慢する」というご返事でした。しかし、数名の方については、現在公営住宅に入居しておられて、市のいう「入居条件」には厳密には適用しませんが事情をお伺いする限り、是非とも「受け皿」に入っていただきたい方です。困難かと思いますが市に対しリストをあげて交渉を始めているところです。



↑ 「ふれあい喫茶」の様子 ↓



## III. 実験的「ふれあい喫茶」開店

「コミュニティプラザ(仮称)」の事前宣伝とスタッフの訓練もかねて1月30日の日曜日の朝、午前9時から11時30分まで「ふれあい喫茶」を行いました。前日までに多くの方から頂いたテーブルや畳・カーペットの設置、食器やコーヒー豆・パン・卵の買い出しなどを済ませ、当日の朝は男女10人くらいのスタッフでいよいよ喫茶店のオープンです。今回はスタッフの訓練が目的だったので、宣伝は近所の方だけに口コミで行い、またあいにくの雨模様だったので、どれくらいの方が来られるのか見当もつきませんでした。しかし、9時になると同時にみくら5や受け皿住宅、近所のおばあちゃん・おじいちゃん、また幼稚園から高校までの子どもたちも来てくれ、総勢40人くらいになりました。この日だけは「実験」ということでコーヒーか紅茶とトースト・卵のセットを無料で出しました。素人ばかりですがコーヒーの味もなかなかでした。パンはあの「寅さん」で有名になった障害者の作業所「くららベーカリー」から今回だけ無償で提供していただきました。これも震災で生まれた繋がりです。

4月までは、日曜日の朝(普段の日は近所の喫茶店が営業しており迷惑をかけるんじゃないかということをお気遣いしています)、何回か喫茶を続けて「プラザに来たらお茶もある話し相手も居る」と思ってもらえる雰囲気を作っていきたいと考えています。スタッフは今回は地域の方が自主的に手伝っていただきました。4月までには登録制にして責任体制もつくってゆきます。

2月6日のふれあい喫茶で行ったアンケートの結果  
コミュニティプラザの名前は「プラザ5(ファイブ)」  
ふれあい喫茶のメニューは200円と決めました。








「まち・コミ」読者の中でコーヒーを入れるのが得意な方、高齢者や子どもたちのお世話、遊び相手が得意な方大募集します。囲碁や将棋、トランプ、児童文庫、一般図書なども自宅に眠っていればお譲りください。(つづく)

# 御蔵通5.6丁目区画整理状況図（2000年1月19日現在）



御管第3住宅  
(67戸中26戸入居)

御管第2住宅  
(28戸中9戸入居)

	— 計画街路		— 街区番号
	— 街路完成箇所		— 新築住戸・店舗
	— 99.7現在仮換地		— 建築中住戸・店舗
	— 99.10現在仮換地		

# まち・コミ **おすすめ** BOOK

## 『震災が残したもの5』

編集・発行 / A-Yan Tokyo

頒価 / 500円



関西弁の「ええやん」をグループの名称に使っているのは「被災地と東京を近づきたい」という思いがあったのだろう。

被災地の現状を全国に発信することで温度差を縮めようと、また震災の教訓を伝えたいと、95年9月から毎年1冊ペースで、このルポルタージュ集『震災が残したもの』を発行している。

一口で「被災者」といっても被害の受け方は様々であるし、被災以外にもボランティア、商売人、取材するジャーナリストなど色々形で『震災』に関わってきた人達がいる。

色々な『今』を背負った人達の生の声からは、震災の多様性や事の重たさ、そして、それぞれの“これから”があることが伝わってくる。

この本を作っているメンバーも、地震直後の緊急救援にボランティアとして駆け付けた人も居れば、東京での活動で初めて『阪神・淡路大震災』と関わりを持った人も居る。

各章の終わりには、そんなメンバー達のそれぞれの気持ちかが記されている。

色々な角度で物事を見つめる必要性を感じた。(よしだ)

### お問い合わせ・申し込み

A-Yan Tokyo 代表 福田 信章

〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 3-37-12-204

Tel 090-8107-2926 Fax 045-312-1862 (かながわ県民活動サポートセンター レターケース 20番 A-Yan Tokyo 宛)

e-mail nobo@oak.ocn.ne.jp (白井 信光宛)

## 神戸 苦悩と希望

### 第八回 【五年目の出来事】

一月十五日御蔵学校、十六日みくらら5竣工式とアイウォーク接待、十七日御蔵地区追悼慰霊祭と、まち・コミは目の回る忙しきでした。スタッフ一同は三日間の通算睡眠時間八〜九時間位でしょう。また、三日間裏方のお手伝い下さった地域住民の皆さんの大活躍があつてこそ達成感を得ることができました。

御蔵学校では知的レベルの高い話を聞き、アイウォークでは地域外の人達との会話に花が咲き、追悼慰霊祭では久し振りに御遺族の方々の会話に当時を偲ばれました。震災の取りもつ縁で御蔵学校のそうそうたる講師の先生方と中高年男女を主体とした参加の皆さんと。みくらら5では震災によつて全てのモノを失った住民の方々が五年の歳月のうつぶんをふつ飛ばす喜びを。そして追悼慰霊祭では忘れられない出来事のない生かされた者の責務を。色んな思いをいっぱい学べた三日間で、震災がなければあれもこれもみんななかったことでした。

昨年十一月に総会屋への利益供与で摘発された(株)神戸製鋼所の所得隠しに続き、今年一月下旬に川崎重工業(株)の赤字前倒し申告による所得隠しと、神戸財界の頭領である神戸商工会議所前会頭、現会頭の出身母体であり、市民の誇りでさえある両企業が処分を受けた。先の三十万を越す空港建設反対署名も市議会で一蹴され、市長も一顧だにしなかった。神戸市民の引きずってきた絶望感、脱力感、虚無感をこの三十日社会人ラグビー神戸決戦が救った。暗いことの続いたこの時に燃える真紅の火の玉ファイフティーンが五年の艱難辛苦を経て勝利を勝ち取った。

この五年過去の栄光の呪縛から逃れることの難しさを味わいながら、基本の欠落を知り、それを体に覚えさせながら練習を積んだと言う。四連覇を逃した向井監督をして『東芝の練習をしていれば勝てるだろう、という自己満足があつた』と言わしめた。人生も企業もあり方も良くスポーツに例えられる。その持つ勇敢で不正やルール違反に厳しく、ノーサイドの瞬間お互いをたたえ合う精神を今こそもう一度学ぶべきではないだろうか。そしてその行動規範を噛みしめたい。

【(株)兵庫商会 田中保三】

# 震災5周年ブックレビュー

キーワード エッセイ  
さんぽみち



WAVE 117 第6号

編集：WAVE 117 編集室  
発行：(株)鹿砦者  
定価：600円+税

約1年ぶりにでた被災地発“人間復興誌”も第6号。特集には「地震の後に生まれた芸術文化その軌跡」、特別対談として永六輔・辛淑玉の「神戸は おもしろく・いじわるく」、また昨年4月にネパールで急逝された佐野由美さんの最後のスケッチも掲載。

今月のテーマ



「新たな発見」

自分とは関係ないと思っている人種は、結構いる。私にとっては、狂言師もその人種に入る。ところが先日、偶然知り合った方のお宅で新年会をさせていただき、ぜいたくにも目の前で狂言を見ることができたのだ。

私は昨年9月から12月まで、ブックライター養成講座を受けた。大学生から60歳くらいの方まで、約20名が受講した。講座は4ヶ月しか無いのだが、受講生全員で1冊の本を製作中ということもあり、意気投合。一人の女性のお宅に10人ちょっとがおしかけ、新年会をすることになった。実は、その方のだんなさんと息子さんは狂言師。こんな所で古典芸能を職業とされている方とお話をさせていただくとは思ってもみなかった。会の最後にみんなのリクエストに応え、「いろは」という狂言を親子でしてくださった。これがまたおもしろい。繰り返される天然ボケやへりくつに大笑い。これまで古典芸能に対して、難しいというイメージがあり、笑いをさそうものだとは思っていなかった。「いろは」は初心者向けのわかりやすいもの。最初にこういうものを見せていただいたこと、そして直接お話を聞かせていただいたことは本当にしあわせなことだ。どんな人と知り合うか。これは、自分がどんなことに興味を持つか、どんな人になるかにつながるのだろう。

みくら5にあるコミュニティプラザ、「プラザ5(アイ)」が動き始めている。試しにやった朝9時からモーニングセットを提供する「ふれあい喫茶」には、50人ほどの人が集まった。震災後、御蔵の人口は確かに減ったのだが、個性あふれる人がたくさんいる。「あ、あなた、顔はよく見るねんけれども、どこの誰なん？」こんな会話がうれしい。これから先「プラザ5」が出会いふれあい、そして新発見の場となるだろう。本格始動が待ち遠しい。

(真由美)



市民主体の危機管理  
災害時における

コミュニティとボランティア

編集：東京ボランティア・市民活動センター  
発行・発売：筒井書房  
販価：1,600円

(送料は冊数、地域に関わらず一律350円)

「未知の事態に遭遇して、厳しい判断を下して行く」ことも重要な危機管理であるという観点から、「図上演習」などの手法を用いて、災害をどう捉えていくかを提唱する。



復興の闇・都市の非情  
阪神大震災、五年の軌跡

著者：和田芳隆  
発行：(株)五月書房  
価格：1,900円

五年間の復興の中に見え隠れする闇と非情。人・街・港・道の四つの章立てでレポートされているのは神戸という都市が抱えてきた暗部・病理の表出であり、それは日本の都市社会に共通する「宿痾(しゅくあ)」であった。力作。



- 12月
- 1日(水)しみん基金公開審査
- 2日(木)協議会役員会
- 4日(土)福田中学校講演(小野)
- 5日(日)御蔵餅つき/公園ゴミたい肥花壇作り/ボランティアプレハブ解体開始
- 6日(月)公園ゴミたい肥花壇作り/協議会役員会/プラザ準備会
- 8日(水)受け皿住宅ヒアリング
- 9日(木)都市計画局長に受け皿住宅交渉
- 10日(金)FMわいわい出演(上田)/福祉勉強会/市民検証研究会ヒアリング
- 14日(火)協議会役員会
- 16日(木)市民検証研究会幹事会/受け皿住宅入居該当者ヒアリング
- 19日(日)公園内覧会
- 20日(月)わが街の会
- 21日(火)宝塚・売布の家他視察/市民検証研究会ヒアリング(野田北部)
- 22日(水)都市の流儀忘年会
- 24日(金)みくら5外部向け内覧会/市民検証研究会聞き取り&忘年会(西須磨)
- 28日(火)みくら5健渡し/月刊まち・コミ印刷・発送/慰霊祭案内発送
- 29日(水)仕事納め
- 1月
- 5日(水)仕事はじめ
- 6日(木)みくら5新年会
- 7日(金)わが街の会
- 8日(土)わが街の会会報発行/ウォーク説明会/協議会役員会
- 11日(火)コレクティブ助成打ち合わせ/プラザ準備会
- 15日(土)第6回御蔵学校 特別カリキュラム
- 16日(日)みくら5竣工式
- 17日(月)慰霊祭
- 18日(火)台湾被災地訪問(~20 田中)/市民検証フォーラム
- 19日(水)受け皿聞き取り調査/わが街の会
- 23日(日)介護保険オンブズマン講演会
- 24日(月)武蔵野市テンミリアンハウス視察/早稲田浦野研参加・打ち合わせ
- 27日(木)プラザ準備会
- 29日(土)ニューまち・コミ会議
- 30日(日)/プラザ・ふれあい喫茶実験開業/県復興支援会議Ⅱ参加

募金・協力 (12/24~2/3)

ありがとうございました！  
(敬称は略させていただきます。)

●募金●

文貞実(岐阜県) 松橋晴俊(神奈川県) 延藤安弘(千葉県) 魚住哲也(須磨区) 柳生利夫(埼玉県)  
 多田治(千葉県) 有馬実成(山口県) 大熊喜昌(東京都) 熊谷博子(東京都)  
 大阪市立大学生生活科学部藤田研究室(大阪府) 渡邊克幸(大阪府) 徳永加恵(灘区)  
 山本順子(高知市) 豊根三恵子(長田区) NPO・NGO 育成基金たかさご(高砂市)  
 日暮峰子(埼玉県) 清水威秀(芦屋市) 坪谷令子(明石市) 高森一徳(西区) 龍門寺(姫路市)  
 小林るみ子(灘区) 中島秀男(垂水区) 中田実(愛知県) 寿松木宏毅(秋田県) 竹田彰(北海道)  
 海老塚良吉(千葉県) 大島由美子(京都府) 北後明彦(灘区) 大東石油株式会社(長田区)  
 (株)山田工務店(中央区) 神田太一郎(東京都) 平井太郎(東京都) 松尾久(中央区)  
 松村孝雄(長田区) 川合益代(須磨区) 梅田和江(埼玉県) 桜井朝教(長野県)  
 (株)新生商会外車部大阪営業所(大阪府) 大倉武男(長田区) 【順不同】

●協力●

シャンティ国際ボランティア会(東京都) (株)兵庫商会(神戸市)

編集後記

- ★一月は生活のテンポが狂い遂に風邪をひきました。たかが風邪されど風邪、注意しましょう(田中)
- ★本誌の現バージョンは今号でおしまい。来月号はニューバージョンの準備号です。(小野)
- ★珈琲の香りとおじいちゃんおばあちゃんの笑い声、寝ぼけ眼の子どもたち。日曜朝の御蔵。(上田)
- ★どうしてもスキヤナの使い方が覚えられない私。今後の不安でいっぱいです。(戸田)

通信費カンパ・募金のお願い

活動に必要な資金への募金のお願いをしております。活動に当たっては、通信費はもちろん、事務所運営維持費や消耗品費など、支出は避けられません。

ご支援よろしくごお願い致します。  
 【郵便振替口座番号】  
 00950-3-42788  
 【口座名称】  
 「まち・コミュニケーション事務局」

2000年2月1日発行

発行 阪神淡路大震災まち支援グループ  
まち・コミュニケーション

定価 100円

〒653-0014  
神戸市長田区御蔵通5-5兵庫商会3F

TEL078-578-1100/FAX 078-576-7961  
E-MAIL m-comi@cx.airnet.ne.jp